

留学だより Vol. 3

こんにちは、アメリカに留学している16期斧田です。8月末にミシガンに来てから、約6か月経ちました。今回は、この半年間にあったイベントについてまとめて書いていこうと思います。

Home Coming 9月

ホームカミングは学校の卒業生たちを年1回、母校にお迎えしてダンスや同窓会などのイベントを学校関係者全体で楽しむという伝統が発祥です。生徒みんながドレスやスーツを着て学校に集まり、踊ったり軽食を食べたりしながら楽しめます。

もうひとつの大きなイベントが、運動部のホームカミングゲームです。特にアメフトは大規模で生徒の家族だけでなく地域のおじいちゃんおばあちゃんまでたくさんの人が観戦しに来ます。試合の合間に、チアやマーチングバンドの発表などもあり面白かったです。私はこの時、人生で初めてカラーガードのパフォーマンスを見たのですが、とても感動したので冬から入部しました。



また、私の通っている学校ではホームカミングキングとホームカミングクイーン、そのお付きの人たちを選ぶ文化があり、事前に投票で選ばれた生徒たちがホームカミングゲームや集会のときにパフォーマンスをしていました。左にある写真は、集会のときのゲームのひとつであるスイカ早食い競争です。クラス（学年）対抗になっていて大盛況でした。真ん中の写真はホームカミングやプロムのためのドレスを扱っているお店です。ものすごくたくさんの種類があり、見ているだけでも楽しかったです。

Halloween 10月



9月上旬くらいから各家庭にハロウィーンの装飾がつけられていました。5メートルはありそうな骸骨や、地面から飛び出す巨大なナイフなど、すべてが大規模で驚きました。またこの時期にはパンプキンパイを使った食べものが多く売られていました。パンプキンパイやカボチャプリンだけでなく、パンプキンコーヒー、パンプキンロールなど本当にたくさんの種類があります。



写真はすべて、友達の家でハロウィーンパーティーをした時のものです。家中がハロウィーン一色でただ見ているだけでもとっても面白かったです。いきなりしゃべり出すお化けや、悪魔とつながることのできる電話などがありました。夜はみんなでカラオケをしました。やっぱりカラオケは世界共通ですね。

ハロウィーン当日には Trick or Treat をしました。日本でも Trick or Treat をやる地域もあると思うのですが、アメリカでは規模が異なりました。子どもの有無にかかわらず、留守にしている家以外、ほぼすべての家が参加していて、バックに入りきらないほどのお菓子をゲットしました。実は1月末になった今でもまだ半分くらい残っています。本当にたくさんもらいました。中には一晩中走り回って3つの町を巡った猛者もいるとかいないとか。お菓子だけではなく、ハンバーガーやホットドッグ、大人向けにビールを用意している家庭もあって驚きました。

私はこちらに来るまで知らなかったのですが、英語ではお菓子を表す単語が candy と snack の2つがあります。snack は日本語でも想像できるようにポテチやトルティーヤチップスなどのしょっぱいチップス系を表す単語ですが、candy はそのほかの甘いもの全般を表します。一番驚いたのは好きな candy は何？という話題になったときに、ある子が KitKat と言ったこと。チョコレートはキャンディの一種なんです！

Thanksgiving 11月

サンクスギビングとはもともと、アメリカへの移民達が飢えて大変だった時に先住民の助けにより農耕が上手くいくようになり、それ以降、秋の収穫に感謝するために行われたものだそうです。アメリカの国民の祝日のひとつで、家族や親戚と集まって食事や会話をゆっくりと楽しみ、日々の感謝を伝え合います。サンクスギビングの顔ともいえるのがターキー。食事の定番だけでなく、季節のグリーティングカードにもターキーをデザインしたものが多くあります。

私のホストファミリーでは、ターキーのほかに sushi も用意してくれました。たくさんおいしいものが食べられてうれしかったです。



Christmas 12月

たぶんアメリカで1年の中で最も大きな祝日は？と聞いたら多くの人がクリスマスと答えると思います。アメリカ人はクリスマス大好きな人が非常に多いです。うちのホストシスターもそのうちのひとりで、ハロウィーンになる前から、「あー！クリスマスが待ちきれない！」が口癖でした。そのため私のホストファミリーでは、ハロウィーンの終わった次の日に大掃除をして、クリスマスツリーなど様々な装飾を設置しました。

クリスマスツリーが巨大なのはもちろんのこと、そのオーナメントの数の多さにも驚かされます。200個近くあったんじゃないかと思います。オーナメントはクリスマスっぽいモチーフのものだけでなく、みんなの思い出を表現したものがたくさんありました。例えば、初めて学校に行った年の入っている鉛筆のオーナメント、家族みんなで旅行に行った場所のオーナメント、高校を卒業した年の四角い帽子のオーナメント。私のホストファミリーは10年ほど前からほぼ毎年留学生を受け入れているのですが、その年にいた留学生とホストファミリーみんなの名前が書いてあるオーナメントも毎年分ありました。クリスマスの度に、過去の大切な思い出を振り返れるなんて素敵だなんて思いました。



クリスマス当日は、今はもう家を出ている娘さんなど、親族を招いて祝いました。ツリーの下にはたくさんのプレゼントがあってワクワクしました。日本みたいにサンタさんが枕元においてくれる風習はないです。ツリーの下に置かれているのを、宛名のシールを見ながら開け、目の前で感謝の気持ちを伝えます。私は、手帳やブレスレットなど長く使えそうなものを色々もらいました。



左は、友達の家でのクリスマスパーティーの写真です。クイズ大会をしました。友達とクリスマスプレゼントを渡しあうときに定番の方法が Secret Santa です。事前にくじ引きをして自分がプレゼントを渡す相手が決まり受け取る側は誰が自分のサンタかわからないのでシークレットサンタといいます。ドキドキで楽しかったし、これをきっかけに前よりも友達と仲良くなれました。このクリスマスパーティーの夜もやはりカラオケをしました。アメリカ人は本当にカラオケ大好きです。歌って踊りまわります。

New Year's Day 1月

ふと思ったのですが、日本とアメリカではクリスマス、お正月の扱いが真逆かもしれません。日本では、クリスマスは友達や恋人と、お正月は家族で過ごす人が多いですよ。でもアメリカでは、クリスマスは家族みんなで集まってゆっくり過ごし、年明けは友達とキャーキャー言いながら祝うって感じでした。私はホストマザーのお友達の家に行って、その家族と一緒に年越ししました。ゆく年くる年や紅白はないけれど、こちらでもカウントダウンをする番組があって、みんなでテレビの前に立って大はしゃぎでした。各国の年明けの様子も紹介していて、14時間前の日本の神社も映っていました。

右の写真は、カウントダウンケーキです。熱で溶けてしまっているのですが、小さいカップケーキには1から12までの数字が書いてあり、年明けまで残り何時間というのを表すように、1時間に1個ずつ食べます。



イベントのまとめ



こうして書き並べてみると分かるように、毎月イベントがありました。ある行事が終わった瞬間、もう気分は次の行事でいっぱい、いつも何かを祝っているような感じです。日本では、季節感を大切にする文化がありますが、アメリカでもその時期の行事に関連したものを食べたり、身につけたり、飾ったりします。

ホストファミリーは、季節によってコーヒーのスパイスを変えたり、食卓の敷物を変えたりしています。

写真は近くのスーパーで売っているアイスです。季節のものをモチーフにしたアイスが売られていて、今はバレンタインということでピンクのバラのアイスです。ちなみに、写真のカボチャのアイスはカボチャ味に見えますが、実は違います。茶色いところがチョコ、紫のところはストロベリー、そしてオレンジのところはバニラです。色にびっくりだけど、おいしかったです。

おわりに

最後まで読んでくださりありがとうございました。この半年間常に何かに迫られていて、本当にあっという間でした。英語はまだですが、たくさん学ぶことがあり、日々刺激を受けています。これからも少しずつ前に進んでいきたいです。今回は、アメリカで感じた日本をテーマに書いていく予定です。お楽しみに！